

—横浜国立大学経済学部教育後援会会員の皆様へ—

名称変更（規約改正）についての、ご報告と御願い

夏も峠にさしかかり、暑さもいっそう厳しくなってきました。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、この会も横浜国立大学経済学部保護者富丘会という名称で2003年4月に立ち上げて以来6年目を迎え、学生の福利厚生支援、就職活動支援、国際交流支援に着実な実績を積み重ねてまいりました。昨年度は、まず国際交流支援として、2名の学生（保護者が本会会員）にそれぞれ5万円を支給しました。また、就職支援活動としては、1月22日に教育後援会主催行事として「選考直前！公開面接講座」を行い、就職活動直前の経済学部3年生に実際に模擬面接を受けてもらいました。そのことで3年生諸君の就職活動へのモチベーションを高めることができたと思います。また、国際交流支援として、経済学部生のための「短期派遣留学ハンドブック」および「欧州英語討論会ブックレット」のPDFデータ作成費用を支払いました。それらは経済学部のキャリアデザイン・ネットワークのホームページに掲載されています。また昨年度は新しい試みとして、会員と大学の関係をより円滑にするために「教育後援会アンケート」を行いました。今後の教育後援会のあり方に参考となるアンケート結果が得られたと思います。さらに、学生の福利厚生支援の一環として、3月26日の卒業式後に開催された学生主催の卒業祝賀会への支援をいたしました。

今年度に入り、4月3日の入学式当日、横浜市開港記念会館において教育後援会総会を行いました。当日は総会に先立ち経済学部説明会をあわせて行い、大門学部長、マッコレー国際交流委員長、および中村良夫前厚生委員長から、会員および新入生保護者へ、入学お祝いの言葉、留学支援、学生生活、就職といったことについて話がなされ、経済学部の学生に対する教育のあり方を知っていただきました。

さて、4月3日の教育後援会総会では事業報告、決算、予算の承諾、新役員の選出、および教育後援会の正式名称変更について承認をいただきました。本日、ご報告させていただくのは、その際承認いただいた「**横浜国立大学経済学部教育後援会**」から「**YNU経済学部教育後援会**」への会の正式名称の変更の理由についてであります。国立大学が独立行政法人となった後会計監査のあり方が変わってまいりましたが、横浜国立大学という名前が会の名称にある場合、大学に対する直接の監査を受けてしまう恐れがあります。YNUはYokohama National Universityの略称で実体上は横浜国立大学とYNUは同じものではありますが、会計監査の都合上横浜国立大学をYNUに変更させていただくということです。本学に関わる多くの組織、団体がYNUの略称を使っており、名称の変更による不都合は生じないと考えます。

本来ならすべての会員の皆様に事前にこうした事情を説明した上、総会でのご承認をいただくべきでしたが、事後的なご報告となったこととお詫びいたします。また、この機会にご意見等ございましたら、是非お寄せいただければ幸いです。

皆様のさらなる、ご健勝、ご発展をお祈り申し上げます。

2009年7月16日 横浜国立大学経済学部厚生委員長 永井圭二